

スガウェザリング技術振興財団 第27回表彰・第28回研究助成 贈呈式・記念祝賀会

(財)スガウェザリング技術振興財団では、毎年ウェザリングの研究について、著しい成果を上げられた方の表彰・研究助成を行っています。今年も厳正な審査の結果、第27回表彰、第28回研究助成先を決定し、今春、各界の著名な方をお招きし、贈呈式・記念祝賀会が盛大に執り行われました。

平成21年4月23日(木)11時15分～13時 東海大学校友会館



坂田 東一 文部科学審議官
(現 文部科学事務次官)



清水 司 理事長



春山 志郎 審査委員長



下邨 昭三 理事



須賀 茂雄 理事

開会にあたって、清水司理事長(東京家政大学理事長)より挨拶、春山志郎審査委員長(東京工業大学名誉教授)の審査報告に続き、清水理事長より表彰並びに研究助成の贈呈が行われ、坂田東一文部科学審議官(現 文部科学事務次官)にご祝辞を戴きました。

引き続き記念祝賀会では、下邨昭三理事(元科学技術事務次官・(財)核物質管理センター会長)の挨拶、須賀茂雄理事(スガ試験機代表取締役社長)の発声で乾杯をしました。

受賞者研究のパネルによる展示・説明が行われ、また、受賞者ご夫妻のご出席もあって、和やかな祝賀会となり、盛

会でした。

第1回(昭和57年)より今回で表彰は団体15件、個人127人、研究助成は201件を数えます。



記念祝賀会会場風景

第27回(平成20年度)財団表彰

科学技術賞(個人)

伊藤 義人
名古屋大学大学院 工学研究科
社会基盤工学専攻 教授



環境促進実験による鋼橋の防食システムと免震支承の性能劣化評価手法の確立

塗装および金属皮膜の防食システムに関して、各種の環境促進実験を行い、酸性雨による橋梁の各種塗装および金属皮膜防食システムの劣化特性を初めて明らかにした。

また、橋梁免震ゴム支承の劣化問題にも取り組み、世界で初めて長期劣化予測モデルを確立。ウェザリング技術の橋梁への適用と高度化に寄与した。

科学技術賞(団体)

一ノ瀬 博文(代表者)
(社)ビジネス機械・情報システム産業協会(JBMIA)
画像保存性WG



デジタルフォトリント画像保存性における研究活動

日本・アジアの気候・実環境の膨大な測定データを集積し、日本の気候や使用実態を加味した試験方法、寿命基準の研究、確立活動を行った。

また、業界団体代表の立場での意見提案の実行や、多種多様な出力方式に対応した評価用画像データを提示した。これら一連の研究・活動は、ISO規格化においても日本が主導的役割を果たす大きな原動力となっている。

科学技術奨励賞

渡部 修
福島県ハイテクプラザ
会津若松技術支援センター所長



亜鉛めっきのクロムフリー化成処理技術

六価クロムをはじめ有害物質の世界的な使用規制が問題となっている昨今、クロムフリーの技術としてこの研究を発展させ、改良タンニン酸を使った亜鉛めっきの化成処理技術を確立し、主導的に研究と事業の推進をして県内企業に技術的な支援を行ってきた。

科学技術奨励賞

杉山 淳
セイコーエプソン(株) 情報画像事業本部情報画像
CS品質保証統括部JIP・CS品質保証部



塩崎 明彦
セイコーエプソン(株) 情報画像生産技術統括部
機器生産技術開発部海外現地法人部長



インクジェット耐光性評価に関する室温での暴露の研究と、蛍光灯耐光試験装置の開発

耐光性を短時間で促進して評価する装置として、従来不可能であった、サンプルの照射面において実用環境における温度及び湿度を完全に再現できる蛍光灯耐光試験装置を開発した。

この試験装置の開発は、我が国のデジタル写真の長期保存性の信頼性向上に大きく貢献した。

第28回(平成21年度)研究助成贈呈者

矢島 勝司
(独)産業技術総合研究所
研究環境整備部門 テクニカルスタッフ



アルミ建材への粉体塗装の耐久性に関する調査研究

アルミ建材用塗膜品質規格「QUALICOAT」に適用可能な日本の粉体塗装品の耐久性を試験研究し、国内要求性能に対する品質検証と試験方法の確認を行う。このため、日本の粉体塗料の実績を作るためイタリアと日本で比較テストをしてデータをとる。

織田 博則
大阪教育大学 教育学部 教授



色素の耐光性改善に関する研究

21世紀を迎え、地球環境保護のため限りある資源の有効活用が求められている。

本研究では、天然、合成及び機能性色素の光安定化技術の構築を通じて、衣類関連、及びエレクトロニクス関連生活用品の耐久性改善と、天然素材の衣服生活資源としての有効利用を目的とする。

谷池 俊明
北陸先端科学技術大学院大学
マテリアルサイエンス研究科 助教



安定剤の分散状況状態の最適化に基づくポリオレフィン系材料の高安定化

ポリオレフィン系材料中の安定剤の分散状態の評価技術の確立と“重合安定化”による安定剤の高分散化を柱として、ポリオレフィン系材料の長期安定性を飛躍的に向上することを目的とする。

(肩書きは受賞当時・敬称略)



「スガウェザリング学術講演会」 開催のお知らせ

第49回(東京)平成21年11月11日(水) アルカディア市ヶ谷
第50回(大阪)平成21年11月13日(金) 大阪国際会議場

詳細は、(財)スガウェザリング技術振興財団の
ホームページをご覧ください。www.swtf.or.jp
事務局：電話 03-3354-5248

編集部